

From the
People of Japan

国家平和構築と持続可能な生活を通じた 平和と社会経済的エンパワーメントの促進

\$ 予算: 1,000,000 米ドル

🕒 実施期間: 2023年3月 - 2024年3月

開発課題

マラウイは平和な国とされてきた; しかし、マラウイの既に貧しい経済が更に維持できないほど脆弱になるにつれ、国や地方レベルで社会経済的リスクや紛争が増加している。近年では、ロシアとウクライナの対立による世界的な商品価格の高騰や、2022年5月のIMFの条件に応じた自国通貨（マラウイ・クワチャ）の切り下げが、脆弱な各家庭（その多くはCOVID-19の大流行によってすでに経済的な影響を受けている）にさらなる重圧を与えている。こうした複合的な危機は、マラウイにおいてより多くの人々を貧困に追いやり続けている。人々は打ちひしがれ、ストレスを抱え、国民の不満が国中で暴力、犯罪、紛争の増加を招いている。

このような状況において、国家レベルの平和構築アーキテクチャの運用と地区平和統一委員会の設立は、暴力と紛争を監視する上で鍵となる。若者や青少年、女性や女兒を含む経済的に疎外されたグループに生計を立てるための機会を提供するとともに、早期警戒を可能にし、緊張がエスカレートする前に安定させる。平和のためのインフラストラクチャー（国家平和構築アーキテクチャ）の法的枠組みは平和統一法案 (Peace and Unity bill) によって確立されたが、それでもなお、マラウイには対話、平和構築、紛争予防のための制度的基盤が依然として不十分である。マラウイは経済危機のため、28のうち22の地区で地区平和統一委員会の設立に失敗している。制度的なメカニズムや仕組みがないため、マラウイ全土で首長権、民族、宗教、政治をめぐる暴力や紛争に十分な対応ができず、世界的・国家的危機のもとでエスカレートし続けているように見受けられる。

プロジェクトの目的

紛争や暴力のホットスポットとなる可能性のある2つの地区で、地区平和統一委員会 (DPUC) と関連するコミュニティ・レベルのメカニズムを設置することにより、平和構築と紛争予防における国と地区の調整メカニズムを強化する。

社会経済的リスク／紛争に対処する地元の能力を向上させ、地域紛争を解決し、コミュニティ・レベルでの社会的安定を高める。

持続可能な地域社会を構築するため、市場志向の農業を通じて脆弱な世帯の生計機会を拡大する。

プロジェクトの成果

国家平和構築計画は、2つの対象地区で実施され、既存の紛争を解決するために全国に拡大される。

紛争が起こりやすいコミュニティに住む女性や若者を含む人々は、社会的結束の促進を通じて、社会経済的リスクや紛争に強くなる。

社会経済的リスクは、生活機会の提供と市場アクセスの改善を通じて対処する。

パートナーシップ

農業省
地方自治統一文化省
広報委員会 (PAC)
JICA

SDGs への貢献

16 平和と公正を
すべての人に17 パートナーシップで
目標を達成しよう